受診前にご確認ください

令和８年度 婦人がん検診を受診される方へ

・「予約確認通知書」の日時をご確認の上、当日は受付時間内に保健センターにお越しください。
・予約日時や受診項目の変更は、事前に保健センターまでご連絡ください。

R8.7.22時点

子宮頸がん検診

【検査方法】問診、子宮頸部の細胞診、HPV検査

◆検診は問診と細胞診・HPV検査にて行います。年齢によって受けられる検査が異なります。

①検査は、子宮頸部の細胞をブラシでこすりとり、顕微鏡で調べます。検査後に出血がある場合がありますが、３～５日以内におさまりますので様子をみられてください。検査当日の入浴は可能です。

②下記の方は子宮頸がん検診を受診できませんので、該当する方はご連絡ください。

・妊娠中または妊娠の可能性のある方　・月経中の方　・ペッサリーやリング等を挿入している方

③下記の方は主治医にご確認ください。※受診当日の医師により検査を受けられない場合があります

・産婦人科で手術を受けたことがある方　・現在、子宮筋腫や卵巣のう腫等を指摘されている方
・ミレーナを挿入されている方

④町での検診は子宮頸がん検診です。子宮体がん検診を希望する場合は、産婦人科での受診をお願いします。
（子宮体がんは、５０歳以上の方の発症リスクが特に高くなっています。）

HPV検査：30歳～44歳の方が対象

●HPV検査とは？
HPV（ヒトパピローマウイルス）に感染しているかどうかを調べる検査です。細胞診検査と一緒に行います。
【重要】今回予約されていた方で、過去2年間（令和6年度及び7年度）に受診歴のある方は検査の対象外となりますのでご了承ください。

乳がん検診

【検査方法】問診、乳腺エコー、マンモグラフィ

◆検診は問診と乳腺エコー・マンモグラフィ検査にて行います。年齢によって受けられる検査が異なります。

乳腺エコー：20歳～49歳の方が対象

●乳腺エコー検査とは？
乳房の超音波検査です。痛みや被ばくはありません。
乳腺が発達した年齢の方には、マンモグラフィより適していると言われています。

マンモグラフィ：40歳以上の方が対象

●マンモグラフィ検査とは？
乳腺・乳房専用のレントゲン撮影です。乳房をはさみ、圧迫しながら撮影を行います。生理前はホルモンの関係で乳房が張り、個人差はありますが、痛みを感じることがあります。なお、マンモグラフィの放射線が人体へ及ぼす危険性はほとんどないと言われています。

①下記の方はマンモグラフィを受診できませんので、該当する方はご連絡ください。
（乳腺エコー検査は実施することができます）

・妊娠中または妊娠の可能性のある方　・授乳中の方　・断乳６か月以内の方
・乳房形成術（豊胸手術含む）を受けた方
・インスリンポンプ・持続グルコース測定器をご使用中の方
（誤作動や故障等の安全性が確立されておらず、装着したままの検査はできません。受診を希望される場合は、検診受診のために機器の着脱を行ってよいか事前に主治医にご確認の上、機器を外して受診してください。）

②下記の方は主治医にご確認ください。※受診当日の医師により検査を受けられない場合があります

・胸部の手術をされ、ペースメーカー・シャントチューブ・ポート等の人工物を挿入されている方
（挿入しているものが壊れてしまう可能性があります。）

③検査時、制汗スプレー･パウダー等は使用しないでください。含有成分が病気に似た陰影として写ることがあります。

乳腺エコー・マンモグラフィに共通する注意事項

①乳房から腋(わき)にかけては、絆創膏や湿布薬等を貼らないようにお願いします。ネックレス類も外してください。
②肩周辺の動きに不自由を感じる方は、問診の際にお申し出ください。
③上半身の衣服を脱いで検査しますので、着脱のしやすい服装でお越しください。

＜問合せ先＞　基山町　健康増進課（保健センター内）　TEL：０９４２－９２－２０４５